

# On y va! (オニバ)

## 任地配属

Bonjour! 日本は秋の涼しさを感じるころでしょうか。ベナンは小雨季が終わりに近づき、小乾季を迎えて暑くなっています。ベナンに来て2ヵ月が経ち先月、任地(サケテ)に配属され、1ヵ月経とうとしています。今は任地での一人暮らしに慣れることに精一杯です。



家のアパートに住む子供たち！仲良く生活しています。

## アフリカのベネチア

配属前に「ガンビエ」という水上都市に行きました。湖の上に家を建て小舟で移動する集落で、売店や学校、モスク、銀行など生活環境が整っています。奴隷になることを拒み湖まで逃げて来た民族と言われています。美しい街とは言い難いですが、人々が懸命に生きている様子を見ることが出来ました。



サケテ中心街様子！ベナン食が多く立ち並ぶ

## バカンス！

小学校の先生として任地(サケテ)に配属されましたが、いまベナンはバカンス(長期休み)なので学校には先生も生徒もいません。その為、今は事務所に行って職員や校長先生に挨拶したり、任地(サケテ)の学校の場所を把握したりしています。



## 私が生活し、活動する町

### サケテ (ベナンの中では街と村の間の規模)

\*民族：ナゴ族等(ナゴ語等) \*宗教：イスラム教、ブドゥー教、キリスト教  
\*ライフライン：比較的安定 \*アクセス：首都から1時間、最大都市から2時間  
\*町の様子：売店やレストランは少なめ、薬局・病院・ホテル・グランドなどが市街にある、道は基本的には舗装されていない、さらに銀行がない。小学校は約90校  
\*人の様子：子供と女性が多い、成人男性は首都や都市への出稼ぎのため不在のよう。人々は活気があり、子供は外でサッカー、女性は商売に励んでいる。国境に近いため、ナイジェリア出身で英語を話す人が町中で見受けられる。

サケテで2020年7月まで生活、活動する予定です。サケテに馴染めるように名前を覚えてもらうことや町で食事、ナゴ語であいさつ、一緒にサッカーなどを行っています。

宗教的なお祭りが盛んで羊や牛を解体し、食べ、食への感謝を表すイスラム教の「タバスキ」、風の神をまつり、特定の日には外人は家から出てはならず、見ることも出来ないという、謎に包まれたブドゥー教の「オロ」をそれぞれ直に体験しました。考えるよりも触れてみるのが学びとなり、異文化に触れるうえで考えることが理解に繋がるのではなく、共に行い、感じる事が理解に繋がることもあると思いました。

## 第2のふるさとになる町

途上国で2年も住む経験は最初で最後になるかもしれません。それがサケテなのは何か縁を感じます。それはサケテが私の生まれ育った町に似ているからです。私は埼玉県日高市がふるさとです。そこは東京へ2時間弱で行けます。その為か日高市自体がすごく栄えているわけではありません。大人になったら離れる人が多いです。だが、

人が優しく、公園が多いため子育てに適している環境です。

すごくサケテと日高市に共通点があると思います。親しみを持っています。同時に私は日高市をよく理解していると感じました。

自分の地元、ふるさとを知ることでの他の町との比較ができ、もし共通していることがあると親しみを持つことができます。まずは地元、ふるさとに関心を持ってみましょう。いろんな発見があるかもしれません。私はサケテにもっと関心をもって生活してきます。